

CASBEE-広島 2014年版
 (仮称)広島大学本部跡地 ナレッジシェアファーム 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境			0.40		-			2.9
1 音環境		3.1	0.15	2.6	1.00			2.8
1.1 騒音		3.0	0.47	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.2	0.47	2.3	0.50			
1 開口部遮音性能	Dr-45(事務所)	3.0	0.89	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		5.0	0.11	2.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	1.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.06	-	-			
2 温熱環境		2.3	0.35	2.4	1.00			2.3
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.58	3.0	0.63			
2 外皮性能		3.0	0.35	3.0	0.38			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.07	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	0.20			
2.3 空調方式		2.0	0.30	1.0	0.30			
3 光・視環境		2.3	0.25	3.7	1.00			3.0
3.1 昼光利用		2.4	0.30	3.4	0.50			
1 昼光率	住居部で2.70%確保	2.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	1.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.50			
1 昼光制御	住居部は、カーテン+庇(バルコニー)にて昼光制御	3.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		1.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		3.7	0.25	3.8	1.00			3.8
4.1 発生源対策		4.0	0.57	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	建築材料はF☆☆☆☆を全面的に採用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.37	3.6	0.38			
1 換気量		3.0	0.46	3.0	0.33			
2 自然換気性能	非住宅部で1/30以上、住居部で1/6以上確保	4.0	0.08	5.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.46	3.0	0.33			
4.3 運用管理		5.0	0.06	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			2.8
1 機能性		2.7	0.40	2.0	1.00			2.3
1.1 機能性・使いやすさ		3.7	0.40	2.0	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	0.06	-	-			
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.06	2.0	1.00			
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準の最低レベルを満足	4.0	0.89	-	-			
1.2 心理性・快適性		1.1	0.30	2.0	0.40			
1 広さ感・景観		2.0	0.12	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		2.0	0.06	-	-			
3 内装計画		1.0	0.82	1.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級2相当	4.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:塩ビシート(20年)、壁・天井:ビニルクロス貼り(20年)	4.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:PE(B) 汚水雑排水:VP(B) Eは不使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性			2.8	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.3	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			4.6	0.09	3.6	0.50	
1	階高のゆとり	非住宅部4.2m、住宅部2.91m確保	5.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	非住宅部0.15	4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			2.0	0.09	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.82	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		建物高さを周辺とバランスよく調和、美観形成基準を満たしている等	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		非住宅部 BPI _m =0.77 住宅部 等級3	3.2	0.20	-	-	3.2
2 自然エネルギー利用			2.2	0.10	-	-	2.2
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.98 住宅(専有部) 0.99	3.9	0.50	-	-	3.9
集合住宅以外の評価(3a.3b)			3.0	0.30	-	-	
集合住宅の評価(3c)		LED照明器具の採用	4.3	0.70	-	-	
4 効率的運用			2.7	0.20	-	-	2.7
集合住宅以外の評価			2.0	0.30	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	0.70	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60	-	-	3.2
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		パーティクルボード(内装材)	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		内装が乾式工法で分別容易、PS・天井内配管で設備との錯綜回避	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡断熱材はノンフロン製品を採用	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		LCCO ₂ の排出率を参照値より抑制している	4.4	0.33	-	-	4.4
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害チェックリストの一部を満たす、広告物照明がない	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	